



ヨミトリとヨミトリ君で ご一緒にしましょ！(8)

高木久美子

意識があるのに、わかっているのに、言葉を発しているのにそれが伝わらないことについて、どう向き合い、取り組んでいくかということは、人の尊厳に関わる大切なことです。技術と技能を心で繋ぎ、障害のある方のコミュニケーション支援・レクリエーションの楽しい機会の提供を目指して非営利で活動しています。活動を通して学んだこと、感じたことなどを書いていきます。

「ヨミトリ君を愛しいと感じます」

対人援助学マガジン前号の投稿締め切り日だった 2023 年 11 月 25 日から 3 か月。対人援助学会年次大会@広島 of 興奮冷めやらぬ中、指筆談ヨミトリとヨミトリ君にとってこの 3 か月はまさに激動の日々でした。実は 2021 年 11 月にヨミトリ君 1 号が試作機として誕生してから高木にとってはずっと激動状態のような気もしますが、ここのところその激動度が加速している感じです。もちろん嬉しい悲鳴です。いつもの「ヨミトリとヨミトリ君で一緒にしましょ！」では各 3 か月の間の出来事からピックアップしてそれらの出来事から学んだこと、感じたことを書いているのですが、今号は趣向を変えて、日誌風に細かい出来事を含めて赤裸々に！ご紹介してみたいと思います。表記のスタイルは対人援助学マガジン編集長の団士郎先生の連載ご投稿「晩年D・A・N通信」を真似してしまいましたーm(_)_m。

■ 2023 年 11 月●日

12 月の東海地区遷延性意識障害者と家族の会「ひまわり」(以下ひまわり)主催の講演会の準備が進行中。会場参加に加え、Zoom 配信が決まる。ヨミトリ君開発者の岡田さんから対談コーナー登壇用スーツ調達完了の報が届く。

■ 2023 年 11 月●日

遷延性意識障害となられた方のご家族からヨミトリ君についてのお問合せ。意思疎通の方法をいろいろ検索されていてヨミトリ君を見つけられたとのこと。遷延性意識障害者の関連団体の会員さんでなく、ダイレクトでお問合せをいただくことが増えてきた。

■ 2023 年 11 月●日

ヨミトリ君 4 号のBluetoothマウス化計画が想定以上に順調で嬉しい驚き。完成すれば iOS でもAndroidでも特別なアクセシビリティ設定なく自由自在に操作可能！(の予定)。

■ 2023年11月●日

ひまわり講演会講師の國學院大學教授 柴田保之先生との講演会打ち合わせZoomミーティング。ヨミトリ君3号で書字のデモも加えることに！打ち合わせだけでも楽しくて、当日成功の予感しかしない。

■ 2023年11月●日

ヨミトリ君エントリー中のヒーローズリーグの審査期間中。何かと入賞に縁のないヨミトリ君(;;)。今回こそ！

■ 2023年11月●日

X(旧 Twitter)(@goisshoshimasho)に投稿。「指筆談について多角的なアプローチでデバイス化またその研究が進んでいることをとても嬉しく思います。自分の目がその動きや言葉の表出を捉えないからといって、重度障害の方々が皆話せない、わからないと決めてしまうことの無邪気さから脱すると、意思疎通の深く豊かな世界への扉が開きます！」

■ 2023年11月●日

ひまわり講演会配布資料原稿データ完成。オンライン印刷発注。手軽に印刷ができる時代で助かるなー。岡田さんからヨミトリ君4号機のマウス化計画完了の報。それにしても、システムエンジニア、早い…。

■ 2023年12月●日

愛知県大府市のボランティアネットワーク「コラビア」の交流会に出展参加。市や福祉協議会の職員さん、地域のプロボノのスタッフさん、参加ボランティア団体の皆さん、そして一般入場者の方々がたくさんヨミトリ君の説明を聞いてくださって、実機の操作体験をしてくださいました。嬉しかった。なんと展示部門の審査で優秀賞受賞のオマケ付き！ついにヨミトリ君で悲願の初受賞体験(;;)。

■ 2023年12月●日

10月のひまわり三重交流会で司会とお話しを担当して下さった遷延性意識障害のYさん。ひまわり講演会でプログラム後半の「遷延性意識障害当事者の方3名によるヨミトリ君操作コーナー」の出演に加え、高木と一緒に再び司会のタッグを組むことに！私「Yさん、三重交流会に続いて講演会でも弾けようね(≧▽≦)」。Yさん「高木さん、今度は真面目にやりましょう」。

■ 2023年12月●日

いよいよ明日はひまわり講演会。新潟のMさんがご両親と前泊で名古屋に来てくださる。昼食の場所にちょっと悩んでいたけど、最近激混みの名古屋駅は早めに離れて、名古屋駅と

宿泊ホテル最寄り駅をつなぐ地下鉄の途中駅にある脳卒中障害者のいきがづくり NPO 法人ドリームのカフェを思いつきご案内。ドリームは段差がなくMさんの車いすもスムーズに入店できた。高木仲間の職員さん、当事者スタッフさんのご好意でテーブルを付けて広くスペースを用意してくれてあったので、Mさんの食事のケアもそこでゆっくりやっていただけた。が、昼食後の講演会リハーサルはまさかの難航…。MさんもYさん同様講演会ヨミトリ君操作デモの重要プレゼンターの一人。10月のヨミトリ君長野合宿以来2か月ぶりの再会だけどMさんのヨミトリ君操作技能はすごいので、皆本番の心配は全然していなかったけど、それでもヨミトリ君4号での書字は初めてなので、なんとしても今日リハーサル兼練習をしておきたい！ところが、Mさんは少し4号を触っただけで、「きょうはもうよみとりくんやりたくない」と。ガビーン。啞然とすごろ親。「そこをなんとか」と必死に説得する。固まっている開発者岡田さん…。結局Mさんのやらない意志は固く、リハーサルは早々に終了し、ホテルへご案内となった。でも早めにホテルにチェックインできたので、たっぷり2時間、Mさんと怒涛のトーク再び！たくさんたくさんお話ししました。Mさん、明日頼むね。

■2023年12月●日

日本意識障害学会、全国遷延性意識障害者・家族の会助成、東海地区遷延性意識障害者と家族の会「ひまわり」主催、静岡県遷延性意識障害者家族会共催で、國學院大學人間開発学部初等教育学科教授 柴田保之先生をお迎えし、2023年度講演会「誰もが言葉を持っている遷延性意識障害者の意思疎通の扉を開く～指筆談のデバイス化に見えた希望」開催。ひまわり行事史上最多のご参加をいただき、前半の柴田先生ご講演、後半の柴田先生とヨミトリ君開発者岡田浩さんの対談。そしてYさん、Mさん

Nさんの遷延性障害当事者3名によるヨミトリ君操作デモと、柴田先生の指筆談介助による3人の意見表明が行われ、最後に活発な質疑応答と、熱気と笑いと涙に包まれた最高のひと時。柴田先生、岡田さん、そしてMさん、Yさん、Nさんありがとうございました！操作デモの素晴らしさだけでなく、ヨミトリ君についてのそれぞれのコメントもとても励まされるもので、嬉しかった。ご来場・オンラインご参加くださった皆様ありがとうございました。そしてお手伝いくださったボランティアの方々、お疲れ様でした。本当にありがとうございました！

■2023年12月●日

講演会のアンケート回答を見る。全体の高評価ありがたし。ものすごい量の自由記載欄コメント。今後のひまわりへ行事への参加ご希望、講演会ご参加の方からの早速のヨミトリ君体験お問合せ。講演会アーカイブ動画も公開直後からご視聴数多数。これまでのひまわりの意思疎通の取り組みへの評価と、今後につながる希望と期待がひしひしと。「歴史的な一日になりましたね。この一日の一員だったこと誇りです」とのボランティアスタッフさんのコメントに感涙。昨日のNさんは、髪を編み込んで、とてもかわいかったなー。リハーサルの時に言ってくれたコメントも素敵で「よみとりくんはとてもたのしいですが、さいきんはとてもいとおしいそんざいだともかんじています」と。すべてのことに感謝の言葉しかない。より一層がんばらないと！

■ 2023年12月●日

講演会の時の当事者の方の言葉をふりかえって考えている。「右に動かそうとする時、手を持ち上げて右にずらしてとか理屈で考えるより、『右！』と身体に命じるといふか念じるような感じの方が自然に右に行けるんです。」想起とか想念はどこを伝わって運動に至るのか。脳血流はどの行程で流量を変えるのかとか。脳の筋肉も動いているはずだし。あれ、脳に筋肉ってあるのかな…。

■ 2023年12月●日

ヨミトリ君をがんばってくれている遷延性意識障害者の皆さんがヨミトリ君 4号のマウス操作を少しずつできるようになっているので、このところ支援先で岡田さんが「将来ヨミトリ君 2台使って両手で操作できるようになればPCもタブレットも完全操作できます！」と見通しを言うてくださるのだけれど、さすがにそこは釘を刺した。だって同席して聞いているご家族が強烈に引いてるんだもん。空気読んでほしいシステムエンジニア。ご家族がプレッシャーを感じてしまったら先へ進むどころか、「とても手に負えません。もうけっこうです」になってしまう…。「エンジニアの宿命というか、開発というのは現状維持は許されないの…」との言葉に、たぶん 2021年にヨミトリ君が始まって以来の議論。「上っていく階段に踊り場が必要なんです。ずっと寝たきりで意識あるかどうかもわからないと思われていた方たちなんですよ。ヨミトリ君で誰の介助も受けずにゲームができて、それって人によっては、たとえば、地下から何十年ぶりに地上に上がれて『わあ、お日様の光ってこんなにきれいだったんだな』と思うような感じなわけです。久しぶりのその景色を先ずはじっくり楽しみたいんです。きっと、で、まだ完璧にその景色を思い出してなぞっていたい時に、『次の階はもっときれいですよ。さあ上りましょう』と言われても、『ちょ、ちょっと待って。もう少しここにいたい』と。先ずはその景色を堪能したいその時間がどのぐらいか、次の階へ違う景色をみるために上がるタイミングはいつなのか、そこってすごく慎重に見極めたいんですよね。当事者やご家族の正直な思いを教えていただくにはプレッシャーは絶対禁物！」「岡田さんの気持ちはよくわかります」と脳血流のAI解析による意思疎通支援研究の増尾さんがエンジニア側に加勢したので 2対1になったけれども、ここは譲れない。ヨミトリ君プロジェクトコミュニケーター兼コーディネーターとして、必要なストップは随時かけさせていただきます！

■ 2023年12月●日

11月にお問合せをいただいていた、遷延性意識障害になられた Mさんのご家族とメールでのやり取りや Zoomでの打ち合わせの後、ヨミトリ君体験で訪問。目を閉じておられる時間が長く、当初「目を閉じている=覚醒していない」との周囲のご判断だったけれども、実際にはMさんは目を閉じておられてもヨミトリ君の操作を少しできた。「意識があるとは思っているけれどもそれをICT機器で確認したい」というご家族のご依頼だったので、初回は私は指筆談でほんの少しの時間しか参加しなかったけれども、Mさんはものすごくしっかり書いてしっかり言葉を伝えられたので、それなのにヨミトリ君操作のパフォーマンスがそれに見合わ

なかったことに違和感があった。指筆談できればヨミトリ君の操作ができるし、ヨミトリ君操作ができれば指筆談も同じようにできるはずなので(一定レベルの指筆談介助者であれば)。次回の作戦を練る。

■ 2023年12月●日

Mさんのヨミトリ君ご支援の2回目。ヨミトリ君操作時のデータ解析の数値をご家族にお見せしたところ、Mさんはほとんど目を閉じていたけれども覚醒していてヨミトリ君を操作できていたことを確認、納得していただけた。よし。ヨミトリ君支援が指筆談ヨミトリによる技能とヨミトリ君の技術の両軸で行うことを旨としていることをあらためてお伝えし、前回の指筆談時の覚醒度に比べてヨミトリ君操作のパフォーマンスが出なかったことへの対処をするために、指筆談でMさんのヨミトリ君操作感をお聞きしなければいけないと説明。結果、指筆談もヨミトリ君もどちらもしっかり成果を出す事ができた。初回に通常お聞きする見え具合、聞こえ具合、痛みの有無に関する質問に対し、「はなしかけるこえがおおきすぎていやです」とはっきり。目を開けられない時間が多いので、より聴覚が鋭敏になれるのか、普段声の小ささを指摘される岡田さんの声すらも「おおきいです」と。これは、毎日の生活で都度、周囲の話しかける声が大き過ぎると感じておられるなら相当なストレスになっているはず。すぐにご家族と同席されていたケア従事者の方に伝える。ご家族も2回目はとても手応えを感じてくださった様子で、指筆談に関しても「Mの顔が満足感にあふれていたのがわかりました。良い時間でした」と言ってくださり、取り組みで気持ちが通じ合ってよかったなー。

■ 2023年12月●日

ひまわり講演会のアーカイブ動画を観てのヨミトリ君体験のお問合せをいただく。Sさんのご家族から。メールでのやり取りとZoomでのミーティング。事前のご説明をお聞きすると、これまでの意識障害当事者の方の状態としてはもっとも重いと思われる。でもご家族の「お医者様からは状況として厳しい診断を受けたけれども、最近、なんとなくですが、わかっている時があるのではないかと感じる時があって」と。手も少しだけですけど動く時があるとのことで、本当にご家族の気づきに勝るものはないのですよねー。「ひまわりの外山代表が言われた『ヨミトリ君の成功率100%はマズイです』が、うちのSが記録更新になることを願っています」とご家族。年明けにお訪ねすることに。

■ 2023年12月●日

神経難病のALS患者のYさんから、「病気の進行で最近文字板が指しにくくなってきた」とSOS。ご家庭の事情でしばらくヨミトリ君はお休みしていたけど、年明けから再開決定。一緒にいろいろ考えて工夫していきましょうね。

■ 2023年12月●日

短い間隔で2回お伺いしたMさんのヨミトリ君の詳しいデータ解析が終了の連絡。早速ご家族に送付。やはり2回目のパフォーマンスが素晴らしい。特にヨミトリ君4号での書字が

凄かったとのこと。やはり、ヨミトリ君と指筆談の両軸で、覚醒を大前提に意識障害当事者ご本人に丁寧にメカニズムを説明して、これからやっていただく操作について先ず理解と関心を持っていただくことが大切ということをお知らせして感じた。岡田さん詳しい解析お疲れ様でした。Mさんからはヨミトリ君の貸出しの可能性についてご質問があった。ヨミトリ君に期待していただいていたけれども、Mさん、4号が軽く操作できて使いやすいと言われていたけど、お貸出しするにはもう少し検証が必要か。

■ 2023年12月●日

神経難病の進行で寝たきり・発話不能になられているTさんの対話支援に。Tさんはヨミトリ君も頑張っておられるけど、特に指筆談での対話を楽しみにしてくださっているので、はりきって出かける。来年2月のTさん外出支援が決まる。出かけて話したいご希望を長く言われていたので予定が決まってよかった。ヨミトリ君のご支援の増加と共に、当事者の方々と指筆談でお話しする機会が増えている。実践の積み重ねが確実に私の指筆談の技量を高めてくれている。結果読み取るスピードが上がっている。当事者の方が早く書けるのがいいと言ってくれる。同じ時間でお話しできる量が増え必然的に内容も深まる。そういえば最近指筆談を長くやっても全然疲れない。ただ書かれる言葉の重みはすごい。そこで自分がへたばってはいけません。修養と鍛錬。覚悟を持って。これにて2023年の活動納め。ヨミトリ君の取り組みを共にがんばっている意思表出に困難をお持ちの皆さま、お疲れ様でした。ご支援・応援してくださっている皆様ありがとうございました。さて、ヨミトリ君、来年はどんな年になるかなー。楽しみ。

■ 2024年1月●日

神経難病の進行で寝たきり・発話不能になられているTさんの対話支援に。Tさんはヨミトリ君も頑張っておられるけど、特に指筆談での対話を楽しみにしてくださっているので、はりきって出かける。ちょうど小学生のお孫さんが遊びに来ていて、なんと指筆談の基本の腕のアシスト動作を体験してくれた！「一緒にやってみて」とお誘いしたら、にっこり笑って一緒に手を添えて。うれしかったー。なによりTさんが「とてもうれしい」と何度も書かれとても喜ばれた。心の優しい少年で、大好きなおじいちゃんの役に立ちたいという気持ちが溢れている。私は密かに「小さな紳士」と呼んでいる。

■ 2023年12月●日

ヨミトリ君のご支援の増加と共に、当事者の方々と指筆談でお話しする機会が増えている。実践の積み重ねが確実に私の指筆談の技量を高めてくれている。結果読み取るスピードが上がっている。当事者の方が早く書けるのがいいと言ってくれる。同じ時間でお話しできる量が増え必然的に内容も深まる。そういえば最近指筆談を長くやっても全然疲れない。ただ書かれる言葉の重みはすごい。そこで自分がへたばってはいけません。修養と鍛錬。覚悟を持って。これにて2023年の活動納め。ヨミトリ君の取り組みを共にがんばっている意思表出に困難をお持ちの皆さま、お疲れ様でした。ご支援・応援してくださっている皆様ありがと

うございました。さて、ヨミトリ君、来年はどんな年になるかなー。楽しみ

■ 2024年1月●日

ご新規のご依頼の S さんのヨミトリ君体験から新年が始まる。ヨミトリ君のお試しと、指筆談の習得にも強い意欲を持ってくださっている。まだ日常的に意思疎通の介助に入られている方がいないため、お話しができるか、まったくの未知数。ただ、ご家族の「確証はないですけどわかっているのではないかとときがあります」、このお言葉を皆で大切にキープしてトライを開始。指筆談。すごい覚醒度。ヨミトリ君は目視に至らない微小動作認識の面目躍如！とにかくご家族が覚醒度に驚愕、そして歓喜。医療・介護のケア従事者の方々を含め周囲で関わる方々に、自分を見てほしい、自分に話しかけてほしいという切なるメッセージ。個々の方のプライバシーを侵害しないよう留意しつつも、同様に遷延性意識障害の診断を受けながら実はいわゆるロックイン症候群(閉じ込め症候群)の状態であられる方々の事例をお話しさせていただく。けっして独りではないよとお伝えするために。お互いの痛みを思いを馳せることで、間接的でも繋がっているのだということ。そして、いつか実際にお会いできる機会を持てる可能性があることを。その時直接お話しできるようにヨミトリ君も頑張りましょうと。2 回目の体験の日程を決め終了。

■ 2024年1月●日

解析していただいた S さんのデータをご送付。次回に向けての期待をひしひしと、嬉しく、感じる。

技術職のご家族がおられるのでヨミトリ君の製作への興味もお持ちいただき、プロジェクトとしては新たな展開。ありがたい。

■ 2024年1月●日

Windows OS 対応に加えて、ヨミトリ君の iOS への対応着手。遷延性意識障害ご家族の間でも iPad は根強い人気。でも大丈夫かな。システムの構築の仕方が全然違うみたいだけど…と、最近聞きかじりのエンジニアリング用語を多用したがるのでひんしゅくを買っているのを自覚している。

■ 2024年1月●日

ひまわり三重交流会、講演会で大活躍してくださった Y さんのヨミトリ君始め。講演会の労を称え、今年もがんばりましょうと誓い合う。「じぶんよのあいぱっどがほしいです。あとばいすおねがいします」と Y さん。岡田さん喜ぶ。開発の励みになるとのこと。プラス対話支援プログラムでとことん話したいと。ご指名いただきました。がんばる！

■ 2024年1月●日

ALS の Y さんを久しぶりに訪問。連絡くれていた通り、文字板を指すのが以前に比べて更に大変そうなお様子。しかし残存の指の力は、遷延性障害の方々よりはる何倍、何十倍もあるの

で、Yさんがヨミトリ君 4 号を操作する時は相当感度を落とさないといけない。次回はまた以前使った高精度ジャイロのスイッチタイプでヨミトリ君を操作してレースゲームをやっていたらごう。

■ 2024年1月●日

ビッグニュース♪「Kariya Micro Maker Fair 2024」への出展決まる。錚々たる企業、有名高専、オリジナリティあふれるモノづくりの団体が集う祭典に参加できるのはものすごく楽しみ。障害福祉の分野の出展は少ないみたいだけど、交流や情報交換ができるといいな。はりきる！

■ 2024年1月●日

講演会で音楽アプリをヨミトリ君で操作して、音楽療法の先生と演奏コラボをしてくださった N さんのヨミトリ君始め。先生も毎回同席して下さり、まずは講演会の話で盛り上がり、その後 iPad でのヨミトリ君マウス操作をお試しいただく。初めての挑戦ですごく上手にできた！Nさんすごい！3 月は先生の教室の生徒さんが一同に会する発表会。今年の発表会はNさんはヨミトリ君で参加したいと早くから言ってくださっていて嬉しい限り。持ち時間が Max10 分とのことで、どんなステージングにするか、次回のヨミトリ君までに N さんに考えておいていただくことに。楽しみ。

■ 2024年1月●日

初めて指筆談の実践者の方からヨミトリ君についてのお問合せをいただく。指筆談の実践者の方にこそ支援にヨミトリ君を活用してほしいとずっと願っていたのでとても嬉しい。

■ 2024年1月●日

かねてご依頼のあったYさんの対話支援。ご自宅から車で 20 分ほどの農業公園に散策がてらおしゃべりに。普段はお母さんが指筆談でコミュニケーションを取っておられるけど、今日はお母さん抜きで話したいということで、Yさんはやる気満々だけど、公園まで車で送って来てくださったお母さんは気になって立ち去りがたく、普段はとっても優しいYさんに「おかあさん、はやくいってください」と促される始末。たくさんお話しして、気が付けば 2 時間余に時間が経過。いろいろな考えや思うことを話して下さって、Yさんが 2 人兄弟の姉と弟で、私と同じなので、私も珍しく弟のことを話して聞いてもらったり、共感できることがたくさんあったし勉強になった。楽しかった。Yさんから「はなせてよかった。とてもたのしかったので、ぜひちかいうちにまたこのようなきかいをもちたいです。よろしくおねがいします」とリピートいただきました！

■ 2024年 2 月●日

同じ週末に、岡田さんヨミトリ君支援、私は指筆談での対話支援の分業。Tさんは久しぶりの；お出かけで、なにしろ冬の寒い日に近くの場合だけど車いすで行くので風邪を引かないよう

に身支度がたいへんで、お支度をされている間に、「べつにでかけなくてもいいよ。たいへんだし」と消極ムードに。あわわ、それはだめなので、「最近になく良いお天気でお散歩日和ですよ。太陽に当たってビタミンDを吸収しましょう！」とお声掛けする。いざ外に出てみたら、本当に良いお天気で風もなくとてもおだやかな暖い日で、Tさんもだんだん乗ってきた。目的地はご自宅の近くにお住まいのご兄弟のところ。ご年配で骨折をされて間もないお兄さんが、兄嫁さんと立って待っていてくださってTさん、Tさんの奥様、ヘルパーさん、そして私の一同大感激。Tさんが「きてよかった。ひさしぶりにあえてうれしい。なつかしい。こどものときのことをおもいだす」とたくさんかいてくださって、お兄さんご夫婦がそれをしっかり温かく見てくださっていて、話しかけてくださって、良い機会に立ち会えてうれしかった。

■2024年1月●日

岡田さんから、単独支援大成功の報が。遷延性意識障害のEさんは、妹さんの指筆談のアシストを受けて、最初からとても上手にヨミトリ君を操作されていたとのこと。いろいろスイッチを試して来たけれどもなかなか合うのがなくて、でも自力での意思疎通を絶対あきらめないEさんもお家族も強い意志でがんばって来られて、ヨミトリ君に出会えてよかったととても喜んでくださった由。私もEさんの「翼が生えたようです」とのメッセージを拝見し、感激だった。

■2024年2月●日

Eさんのご支援に行く直前に完成したヨミトリ君4号のバリエーションがすごいことになっている。4号は精度がすごく高くいろいろなことができることがわかりみんながんばって挑戦していたけど、ものすごく高精度な分、軽く押せるけど操作技能が要求され、実は根を上げる寸前の奮闘状態だった当事者の人がちらほら多数…。機器としての動作も当初の想定より不安定になる時が見られたので、岡田さんが意地をがんばって、メカニズムとしては少しシンプルになったけど、その分操作性が格段にアップして、ガムテープで止めたままの状態を持ち込んだEさんのところで先ず大絶賛。熱望されそのまま置いて来て、続いてNさん、Yさんと、もうパフォーマンスがすごいことになった。どうしよう。

■2024年2月●日

Tさんにも4号シンプルバージョンをお試しいただく。これまで聞いたことのない絶賛の嵐！「すごくかるくうごかせる。とてもしぜんにそうさできる。おもうとおりにうごかせる。おかださん、よくここまでにされましたね」岡田さんもうれしそう。Tさんの奥様はあまりにすいすいとTさんが操作されるので驚いて言葉がない。でもTさんのお顔をじっと見ておられて、私たちには絶対わからないその小さい表情変化から、Tさんが集中して嬉しそうに操作されていることをしっかり感じ取っておられた。Tさん凄いけど、奥様凄すぎ。

3月は皆さんどうなってしまうのか！！進展が本当に楽しみ。みんなでがんばりましょう！

以上、ヨミトリ君の激動ぶりはいかがだったでしょうか。これで？激動？
まだまだ修行が足りないですか？！

とにかくこれらの出来事を通して一番言いたいことは、「全身の麻痺で身体が動かせなかったり言葉を発することができない＝意識がない」ではないとお心に留めていただきたいということです。病気や事故でそういう遷延性意識障害と呼ばれる状態になった方々の中で、実はいわゆるロックトインシンドローム(閉じ込め症候群)の状態である方がどれだけたくさんおられるか。私はその書かれる言葉を読み取って対話をし、なんとしてもお伝えしていかなければいけない。コミュニケーターとして全身全霊で取り組みを続けます！

No Promises. Just Possibilities.

確約はないです。でも可能性を信じましょう！

あなたがわかっていること伝えたい。

情報を必要としている方、表出しているのにまだ伝わっていないあなたの大切な方に、

ヨミトリ君が届きますように

ご一緒にしましょ！

ヨミトリ君HP

<http://www.aizyoushien.com/index.php/yomitol-kun-project/>

東海地区遷延性意識障害者と家族の会「ひまわり」

<http://site.wepage.com/himawari>

ひまわり講演会アーカイブ動画

<https://www.youtube.com/watch?v=0TWzZ0GX4qo>

<筆者プロフィール>

インドネシア語・英語通訳・翻訳を経て、介助付きコミュニケーション「ヨミトリ」による意思疎通支援をライフワークとする。コミュニケーション支援の任意団体「ご一緒にしましょ」代表。脳卒中障害者のいきがづくり「NPO 法人ドリーム」理事。「東海地区遷延性意識障害者と家族の会「ひまわり」会員。第 52 回 NHK 障害福祉賞優秀賞。ヨミトリ君共同考案者。

ご一緒にしましょHP <https://www.goisshoshimasho.com/>